

2025年3月上旬配本予定

美大じゃない大学で美術展をつくる | vol.1

# 藤井光〈日本の戦争美術 1946〉展を再演する

小森真樹編著

定価1,800円+税 | 160頁 | 四六判 | 並製本 ISBN:978-4-908122-29-3 C0070

第2次世界大戦後直後の1946年、GHQによって開催され、占領軍関係者のみが入場を許された展覧会があった。「日本の戦争美術」展と称される展示である。展覧会には、戦時中に日本の画家によって描かれた「戦争画」が所狭しと敷き詰められ、これらの絵画が保存すべき「芸術」なのか廃棄すべき「プロパガンダ」なのかが検収されたという。映像作家の藤井光は、この「日本の戦争美術」展の史実を入念にリサーチし作品化。1946年の「日本の戦争美術」展を会場に再現した絵画展に、歴史史料からシナリオを起こした対話劇型の映像インスタレーションを加え、2022年に東京都現代美術館で〈日本の戦争美術〉展として発表した。さらにコロナ禍の影響が残る2023年には、ウェブ上のバーチャル展覧会として同展を開催している。

この2つの展覧会をふまえ、2024年3月に武蔵大学で平日5日間限定で開催されたのが、本書の元となった「美大じゃない大学で美術展をつくる | vol.1 藤井光〈日本の戦争美術 1946〉展を再演する」（企画：小森真樹）である。

本書には、先行する2つの〈日本の戦争美術〉展の解題にはじまり、武蔵大学の展覧会に至る経緯、展示作品、催されたシンポジウム（登壇者：藤井光、星野太、香川檀）の記録、さらには小森真樹と藤井光による論考を収録。「藤井光〈日本の戦争美術 1946〉」展の作品・展覧会・議論を起点に生まれた、戦争や災害を通じた記憶の力学についての歴史哲学的問いを探究するものである。つまり本書は展覧会ドキュメントであると同時に、書籍というかたちで新たに「再演」された歴史の語りでもある。

## 編著者プロフィール

小森真樹（こもり・まさき）

1982年岡山生まれ。武蔵大学人文学部准教授、立教大学アメリカ研究所所員、ウェルカムコレクション（ロンドン）及びテンブル大学歴史学部（フィラデルフィア）客員研究員。専門はアメリカ文化研究、ミュージアム研究。美術・映画批評、雑誌・展覧会・オルタナティブスペースなどの企画にも携わる。近著『楽しい政治「つくられた歴史」と「つくる現場」から現代を知る』（講談社、2024年）。

アートは、史実の「再演」を通して、いかなる歴史を描くことができるのだろうか!?



上記内容、書籍内容への問い合わせはアートダイバー(担当:細川)まで TEL045-281-3081 FAX045-330-5165 info@artdiver.moo.jp

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121

http://tsubamebook.com

mail: info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊	アートダイバー	http://artdiver.moo.jp
		返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人	
ご担当: 様	冊	美大じゃない大学で美術展をつくる   vol.1 藤井光〈日本の戦争美術 1946〉展を再演する 小森真樹編著	
		定価1,800円+税   160頁   四六判   並製本 ISBN:978-4-908122-29-3 C0070	